

はじめに

下野市教育研究所長 池澤 勤

本年度も高い教育理念に基づいた創意ある教育活動の展開を実践していただきました。各校の課題を見極め、その解決に向けた研究を、校長先生のリーダーシップの下、組織力を生かし、一人一人の教職員が、各校務分掌や担任等の役割に十分力を発揮し、研究を進めていただけたと確信しております。

下野市教育研究所では、学校教育の向上・充実を目指し、4事業（調査研究、研修、相談、資料収集・広報）を展開して参りました。各研究部及び各校からの研究報告をまとめ、今年度も「研究集録 第9号」を刊行することができました。

研究集録では、「学力向上調査研究」「小中英語教育推進研究」「小中連携教育研究」「情報教育研究」「特別支援教育研究」について、調査研究を行った成果や課題をまとめております。各校において次年度の授業改善や研究推進に大いに役立てていただきたいと思います。

また、市内全小中学校の学校課題の研究実践について、その概要を掲載いたしました。こんな児童生徒に成長させたいという全職員の願いを基盤に、各校が授業における「当たり前前を当たり前にする」実践を展開した取組の成果をまとめていただきました。さらに、S&Uコラボ事業（下野市と宇都宮大との連携研修事業）による授業研究はもとより、各校独自の研究も進んでいます。各校がPDCAサイクルを生かして、充実した活動がなされたことを再確認いたしました。

先生方におかれましては、本研究集録を、自校の研究実践の振り返りとしてだけでなく、他校の研究の取組や成果から学ぶという点からも、御活用いただければと思います。

市教育研究所といたしましても、本年度の事業を振り返り、次年度も学校や地域とより強く連携して、下野市の学校教育の充実に寄与できるように努めて参りますので、今後とも御協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、研究集録の作成に際しまして、調査研究や実践、そして執筆編集に当たられた関係者の御尽力・御協力に対し、心から感謝を申し上げます。

平成28年3月